

令和6年度
文部科学省 寄附フォーラム

卒業生や地方自治体と協働した寄附募集活動

国立大学法人福井大学理事（教育、評価担当）安田年博

教育研究組織、学生数等

国立大学法人 福井大学

□学部

教育学部、医学部、工学部、国際地域学部（4）

□大学院

連合教職開発研究科、医学系研究科、工学研究科、
国際地域マネジメント研究科（4）

□学内共同教育研究施設など

附属国際原子力工学研究所他センター・本部など（21）



学生・大学院生数約5,000名 役員・教職員数約2,190名

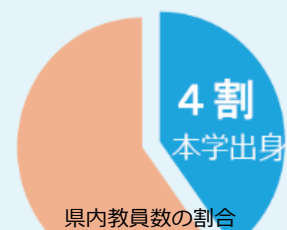


卒業生数（＝同窓会会員数）

□福応会（教育学部の同窓会）	12,864名
□白翁会（医学部の同窓会）	5,320名
□工業会（工学部の同窓会）	29,600名
□国際地域学部の同窓会	291名



多くの卒業生が福井を支えています

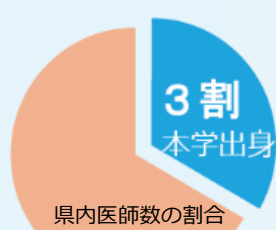


教育学部 (旧教育地域科学部)

—地域の次世代を
育てる教員の養成—

○福井県の教員数
(小中高・特別支援学校)
7,341名

うち本学の卒業生数
2,971名

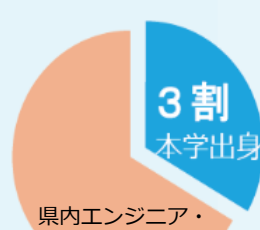


医学部

—地域医療を担う
医療人の養成—

○福井県の医師数 2,057名
うち本学の卒業生数 661名

○福井県の看護師・保健師・
助産師数 9,717名
うち本学の卒業生数 376名



工学部

—地域産業を創造する
技術者の養成—

○福井県のエンジニア・
科学研究者 13,700名
うち本学の卒業生数
4,625名

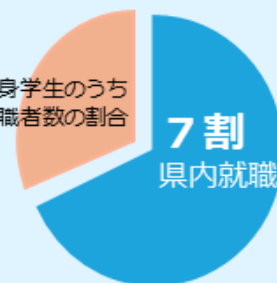


国際地域学部

平成28年度に設置した
本学部では
令和2年3月に初めて
卒業生を輩出



県内出身学生のうち
県内就職者数の割合



○就職者数 53名

うち県内出身学生の就職者数 36名

うち県内の企業・自治体等への就職者数 26名

県内出身学生の県内就職率が72.2%と高く、
幅広く県内の様々なで活躍



近代福井の礎を築いた松平春嶽公の
揮毫による本学所有「格致」の額面

「格致」とは「物事の道理や本質を
深く追求し、理解して、知識や学問
を深め得ること」という意味です。
本学学生、教職員自らの指針となる
ものです。

福井大学基金（羽ばたけ基金）の概要

- 福井大学基金は、平成26年 3 月創設
- 創設時は学生の修学支援事業のみ→令和元年に 7 事業に拡大
- 令和 6 年 4 月 1 日時点の募金事業

[一般基金]

- ①学生修学支援事業
- ②学生・若手研究者研究支援事業
- ③卓越高度専門職業人育成・研究支援事業
- ④グローバル化・地域振興支援事業

[特定基金]

- ⑤附属病院の応援
- ⑥教職大学院の応援
- ⑦附属学園の応援

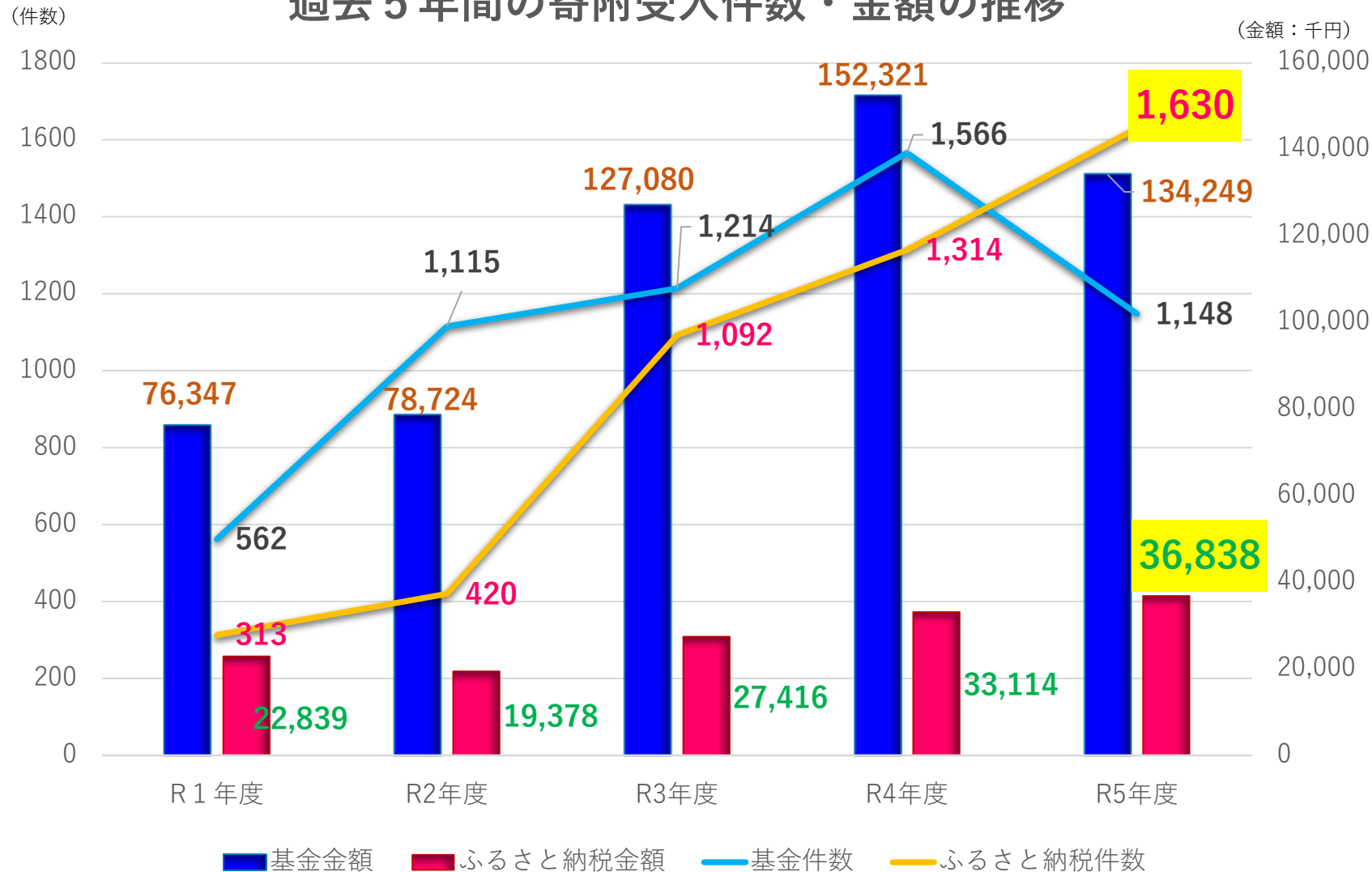
[周年事業]

- ⑧工学部創立100周年記念事業及び工学系の教育・研究の応援



福井大学基金（羽ばたけ基金）の受入状況

過去5年間の寄附受入件数・金額の推移



福井大学基金への寄附総額は
7億5,800万円
ふるさと納税による寄附と合わせ
総額 8 億9,851万円

（令和5年度の寄附実績）
 寄附件数 1,148件
 寄附額 1億3,425万円

（令和5年福井県ふるさと納税）
 寄附件数 1,630件
 寄附額 3,684万円

寄附者別の状況

(寄附者別の寄附状況)

区 分	総 計	
	件数 (件)	金額 (円)
在学生	123	867,589
卒業生	4,280	211,215,384
在学生・卒業生のご家族	921	29,753,518
役員，教職員	1,259	71,381,751
元教職員	387	21,872,774
一般	602	37,715,056
法人・団体	1,072	386,119,804
計	8,644	758,925,876

(個人の年代別寄附状況)

年 代	寄附者数 (人)
100歳代	39
90歳代	153
80歳代	337
70歳代	512
60歳代	407
50歳代	230
40歳代	127
30歳代	83
20歳代	26
合 計	1,914

(令和5年度個人の寄附方法)

入金方法	件数(件)
ゆうちょ（専振用）	510
クレジット等	349
福井銀行	153
リサイクル募金※	51
現金	38
口座振替	47
総 計	1,148

(令和5年)

ふるさと納税	件数(件)
<魅力向上>	1,630

※リサイクル募金
提供いただいた読み終えた本・DVD・ブランド品等を業者が査定し、査定換金額が大学に寄附される取組

寄附の令和5年度活用状況

基金事業	活用項目	件数	活用額 (千円)
①学生修学 支援事業	・ 予約型奨学金 ・ 学生修学支援奨学金 ・ 短期海外研修プログラム参加学生への支援 ・ 自然災害被災学生への支援	24	3,959
③卓越高度専門職業人育成・研究支援	全学	6	4,300
	教育学部	3	564
	医学部	14	4,554
	工学部	8	5,395

基金事業	活用項目	件数	活用額 (千円)
④グローバル化・地域振興支援事業	・ 短期海外研修プログラム引率教員への支援	4	597
⑤附属病院の応援	・ 附属病院環境整備	-	662
⑥教職大学院の応援	・ 連合教職開発研究科奨学金	3	601
⑦附属学園の応援	・ 後期課程校舎改修募金活動事務経費	-	538
⑧工学部創立100周年記念事業及び工学系の教育・研究の応援	・ 記念事業事務経費 ・ 記念施設新築経費	-	249,280
ふるさと納税 (県内大学魅力応援)	・ 若手研究者および共同研究事業への支援 ・ 学生交流スペース環境整備事業	7	12,467

◆学生交流スペース「巢」の整備



福井大 来秋、文京キャンパスに

学生デザインの広場

多彩アイデア審査

喜多崎さん最優秀

福井市の福井大文京キャンパスに新設する屋根付き広場のデザイン案を競う学生対象の審査会が21日、同キャンパスであり、三つの小部屋を巢に見立てた喜多崎さん(23)Ⅱ工学研究科修士1年Ⅱの作品「巢」が最優秀賞に輝いた。同大はデザイン案を基に実施設計を発注し、来年秋ごろの広場完成を見込む。
(宮崎翔矢)

屋根付き広場のデザイン案審査で最優秀賞に輝いた喜多崎さんⅡ21日、福井市の福井大文京キャンパス



学生が自由に交流できるスペースが少ないことから、学生食堂西側にある通路・植栽スペース約580平方メートルを改修する。建築物を含む広場のデザインを学生から募ったところ、案が集まり、書類選考を突破した5案の個人・グループがこの日のプレゼンテーションに臨んだ。

喜多崎さんのデザイン案は鉄骨2階建てで木材を多用。1階には屋根のない吹き抜け空間「光庭」を設け、格子状に組んだ梁から日光が注ぎ込む。2階には「巢」をイメージした三つの交流スペースを配置したほか、学生食堂がある建物の2階と通路で連結。学生が自由に行き来できるよう、外壁のない開放的な構造とした。

他の4組も、箱状の空間「ボックス」を組み合わせたものや、円形の屋根を備えたベンチを複数並べて光と影の変化に着目したものなど、個性的なアイデアが集まった。上田孝典学長ら審査員は講評で「どれも甲乙付けがたい」と学生の努力をたたえた。

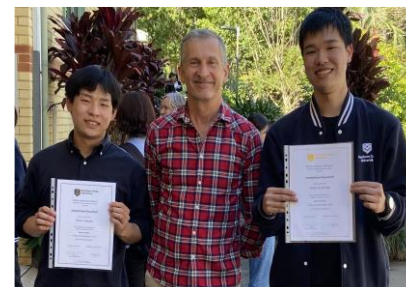
考案した作品の完成イメージ図



震災により両親が職を失ってしまい、経済的に厳しい中、貯金を切り崩して生活費を出してもらっていました。そんな中、今回の支援金をいただき、私や家族の生活の助けになりました。この場を借りて感謝を申し上げます。今度は支援する側に回れたと思います。

（工学部機械・システム工学科）

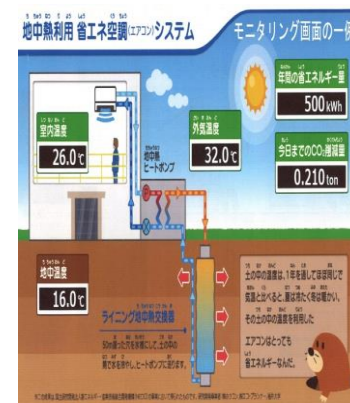
私は、留学時に博士前期課程1年だったこともあり、授業、研究、就活等により満足にアルバイトができませんでした。しかし、皆様からのご支援により経済的な制限なく、存分に学び、充実した留学生活を送ることができました。今後は学生生活を通じて培った力を活かし社会貢献し今度は自らが次世代の学生を支援していきたいと考えています。（工学研究科博士前期課程）



この度は、ふるさと納税による研究支援をいただき、心より感謝を申し上げます。本支援により工学部創立100周年記念施設に導入される地中熱空調システムの運転状況をモニタリングおよび周知するためのサイネージディスプレイ等を準備することができました。



鈴木特命助教



寄附の新型コロナウイルス感染症対応への活用例

アルバイト収入減学生への修学等奨学金支給

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うアルバイト切りにより、収入が減少した学生の生活の支援を継続。支援は毎月実施し、一人一月当たりの平均支給額は24,800円

支援学生数：延べ1,497名、支援額：3,700万円

感謝のメッセージ

感染拡大に伴い、アルバイトも行えず、学外のワークショップなど学びの場も制限され、悔しい思いをしていました。しかし、この奨学金を受給させて頂き、支援して下さいました方の心の温かさに触れ、改めてこの大学に入学してよかったと感じました。ありがとうございました。
(工学研究科1年 S.Y.)

生理用品の支給

コロナ禍等による経済困窮から「生理の貧困」が世界的問題となる中、卒業生から用途指定で寄せられた寄附で生理用品を各キャンパスで配布

支援学生数：延べ3,303名



第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（抜粋） 教育の実施体制に関する目標 （特色ある点）

○ 新型コロナウイルス感染症下における経済支援

新型コロナウイルス感染症下で経済的に困窮した学生を支援するため、福井大学基金や福井県のふるさと納税等を活用した、給付型の奨学金「福井大学基金修学等奨学金」を創設している。この奨学金は収入減の状況に応じて1か月分ごとに申請を受け付けることとし、困窮度に応じた額を継続的に支給するもので、当初（令和2年4月分）から支給を継続している。これまでに延べ1,471名の学生に対して総額3,651万円を支給しており、学生から好評を得ている。

これに加え、「緊急学生修学支援 給付型奨学金」を、福井大学基金を原資として令和3年3月に新たに創設し、月額奨学金（月額5万円、支援限度額30万円）又は授業料相当額奨学金（最大26.7万円、1回限り）を支給することとしている。

さらに、コロナ禍の経済的な困窮から問題となっている「生理の貧困」を懸念した卒業生からの寄附の申出が契機となり、令和3年4月から基金も活用する継続的な生理用品配付支援を実施している。

①一番は学長自らのトップセールス

- ・基金への寄附獲得の責任者は学長
- ・寄附依頼のため年に企業100社を訪問
- ・各学部同窓会総会には必ず参加
- ・寄附者への礼状には直筆署名
- ・知事にも絶えず協力依頼



学長 上田 孝典

②ステークホルダー別の地道な寄附募集活動

- ・寄附集めは「基金事務局」が担当（ファンドレイザー不在、4名体制）、他に同窓会経営者の会事務局、校友会事務局の業務も兼務
- ・ステークホルダー毎に寄附募集の月別計画、希望があればご自宅まで寄附受取り
- ・郵送する基金パンフは年間5万枚
- ・各同窓会としっかり連携、地域の支部総会にも積極参加、時には懇親会の盛上げ役にも
- ・年間寄附獲得目標額は、全学で毎年使う約3,000万円



懇親会で支部長とコラボ

③自治体のふるさと納税の積極的活用

- ・ふるさと納税を活用し、県と大学が協力して寄附を呼び掛けることで学生への更なる支援につなげたいと本学が発案
- ・県と永平寺町が賛同しふるさと納税による寄附制度を設けた結果、令和5年の本学関係の両自治体への寄附総額は 2,197件 7,757万円

④大学の強力な応援団「福井大学同窓会経営者の会」

- ・前学長の発案：全学の卒業生を対象に企業・医療機関などの経営者125名で組織
- ・会の目的は、「母校の応援と、会員自身の発展、ひいては地域の発展に貢献」
- ・福井大学基金への寄附だけでなく、様々な形で大学を支援

<福井県ホームページから引用>

プロジェクト名：「県内大学の魅力向上応援」県内大学で学ぶ学生を応援してください！

福井県内の大学等を指定して寄付することができ、寄付額の4／5を寄付者指定の大学等に交付する仕組みです。

（県が寄付金を受領した次年度にご指定の大学に交付いたします。）

寄付金の使い道は、あらかじめ各大学等で設定し、大学の特色を生かすための新しい取り組みや学生が学びやすい環境を整備するなど、教育環境の充実に活用します。残りの1／5は大学連携センター「Fスクエア」の運営に活用し、大学等の枠を超えた人材育成や学生交流を応援します。

県内大学の魅力向上応援プロジェクトの紹介動画はこちら

https://www.youtube.com/watch?v=N_4N8YWaQmQ

福井大学基金の8事業を
そのまま登録

大学の取り組み（各学校名をクリックすると詳細ページにジャンプします）

福井大学：地域社会の持続的発展に資する事業

高度専門人材育成や地域振興支援など8事業から選択

福井県立大学：「県民のにわ」の整備

豊かな自然に囲まれたキャンパスを開放し、県民が憩い、交流できる拠点づくり

福井工業大学：海外留学支援プログラム

海外での様々な経験を通じグローバル社会で活躍できる学生の育成

仁愛大学：学生が集える環境整備プロジェクト

活気あふれるキャンパスを目指し、学内の各所において、学生が集える環境を整備

敦賀市立看護大学：海外語学研修支援

カナダの語学等研修への参加支援

福井医療大学：学生生活支援

学生駐車場の整備や全国大会に出場する学生等の支援

仁愛女子短期大学：jin-tan DX人材育成事業

資格取得に挑戦する学生支援や学習に必要な機器の整備

福井工業高等専門学校：学生の憩える空間創出計画

芝生広場の設置や合宿研修施設の改装など学生がくつろげる環境づくり

永平寺町では、令和3年度から町が受納したふるさと納税寄附金の一部を財源に、指定のあった町内の大学等に寄附額の7割を補助金として交付する「大学等支援事業」を開始。この制度を用いて、福井大学医学部の教育研究活動を支援

区分	件数	金額
令和3年	425件	36,712,000円
令和4年	548件	37,680,600円
令和5年	567件	40,735,000円

(医学部の寄附金の用途の一例)



☆ふるさと納税によるこれまでの大学への寄附額 (補助金として大学に交付)
(福井県ふるさと納税による福井大学基金への寄附額 + 永平寺町ふるさと納税による医学部への寄附額)

福井県：1億3,914万円 + 永平寺町：1億1,513万円 = 2億5,427万円

寄附集めも含め、大学を支える福井大学同窓経営者の会

福井大学同窓経営者の会の概要

- 平成30年3月27日設立
- 会の目的
大学との連携を密にし、母校を盛り立てるとともに、会員間の交流を推進して会員自身の発展に繋げ、地域の発展に貢献
- 会員
福井大学卒業で企業や医療法人等の経営に携わる者
現在125名
- 主な会の活動内容
 - ・母校の応援団として、出来る支援を実施
 - ・学生へのキャリアアップ支援を通じ、学生との交流を深め、会員企業等に対する学生の理解促進と必要な情報の提供
 - ・会員間の多様な交流・連携により、会員並びに会員企業等の発展を促進

同窓会等とは違う母校の応援団、
会員は影響力大の企業等のトップ



学長から同窓経営者の会への応援要請事項（令和5年度）

- ① 共同研究を含む産学官連携活動の一層の活性化
- ② 教育に係る支援
 - 会員企業社員の福井大学大学院への入学とその支援
 - 学生教育に係るインターンシップ、研修等の受入れ
- ③ 寄附
- ④ 大学の諸活動に係る国等への陳情時のバックアップ
- ⑤ 大学役員等との定期的懇談、提言等
- ⑥ 地域共創の中核を担うための様々な取り組みへの支援
 - 産学協同リスクリング実現のための支援
 - 国際地域学部学生の留学等の支援

毎年、学長
から、応援
要請事項を
同会に説明

福井大学同窓経営者の会の令和6年度活動基本方針

- ① 会員企業の学生の採用活動や、生産性・付加価値の向上のための大学との協働事業（リカレント等）を企画し、それに参加する。
- ② 会員同士のコミュニケーションを密にする。
- ③ 会員間の交流（異業種・異分野）を積極的に行い切磋琢磨する。
- ④ 会員に大学と学生に関する情報を多く提供、会員からも学生に有用な情報を積極的に提供する。
(以下略)

大学と協働した同窓経営者の会の活動

本会は、福井大学と連携し、大学や在学生・卒業生の支援と会員相互の交流・相互発展に資する事業を実施しています。

①会員へ福井大学活用を推奨



総会講演会：福井大学活用のススメ



共同研究推進のための小冊子

②大学主催の学生のキャリアデザイン講義を支援



名刺交換体験



グループディスカッション

③大学と協働でリスクリング講座を県内企業に提供



デジタル化実践講座受講風景



シンポジウム：リスクリング

④定例会で会員と学生が交流



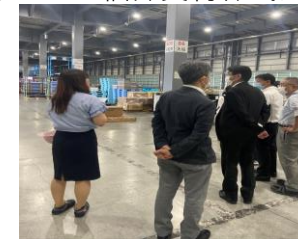
特別講演：ChatGPT活用法



会員と学生による
意見交換会

⑤会員企業の相互訪問、学生・教員も参加し、福井の企業や技術を理解

○ラニイ福井貨物株式会社（第6回、R5年6月）



物流倉庫見学



車体には家族の描いた絵

○セーレン株式会社（第7回、R5年12月）



特殊技術の見学



工場を見学する留学生

○福井中央魚市株式会社（第8回、令和6年3月）



社長から養殖事業説明



水産物の冷蔵庫内

同窓経営者の会から大学への寄附状況

(単位：円)

区分	年 度	①学生修学支援	③高度専門職業人 育成・研究支援	⑧工学部創立 100周年記念	左記以外 の事業	合 計
福井大学基金	令和元年度	5,387,000	170,000	26,130,000	500,000	32,187,000
	令和2年度	11,257,229	1,170,000	25,100,000		37,527,229
	令和3年度	2,823,848	530,000	12,305,000	600,000	16,258,848
	令和4年度	299,000	130,000	19,570,000	400,000	20,399,000
	令和5年度	384,000	2,799,615	3,790,000	630,000	7,603,615
ふるさと	大学の魅力向上応援	135,000	40,000	160,000	60,000	395,000
	新型コロナ学生支援	270,000				270,000
合 計		20,556,077	4,839,615	87,055,000	2,190,000	114,640,692



コロナ禍明けで、必要な財源を確保出来ず、本会に支援依頼があった大学祭実行委員会に50万円の目録贈呈

同窓経営者の会からの大学への寄附総額は、5年間で1億1,464万円

寄附に対する顕彰制度

称号贈呈

福井大学基金へのご寄附の総額が一定額以上となった方に「特別栄誉学賓」「栄誉学賓」「特別栄誉学友」「栄誉学友」の称号贈呈（これまでに123の個人・法人等に贈呈）



（学賓記）



（学友記）



（ご芳名板）

本学に顕著な財政的支援をいただいた個人、団体に対し、敬意と感謝の意を表するため、「称号並びに感謝状贈呈式」と「感謝の集い」を開催

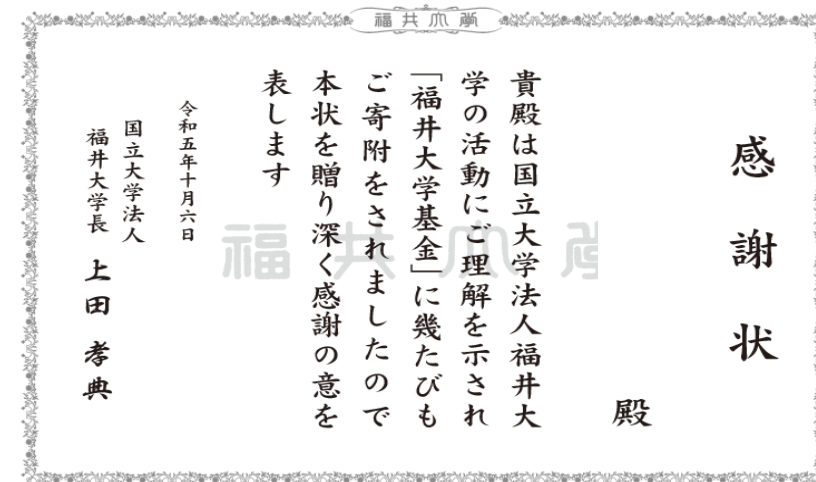


（称号贈呈式・感謝の集い 記念撮影）



（感謝の集い司会、感謝のことば）

個人からのご寄附の回数が4回となった方、寄附の累計額が10万円となった方に、感謝状を贈呈



1. リピーターの確保、拡大

これまでの寄附者実人数は、個人で3,971名

このうち2回以上の寄附者は33%、如何にリピート率を高めるかが大きな課題

2. 卒業生寄附者の拡大

大学にとって最も重要なステークホルダーである卒業生からの寄附を如何に増やすか。

在学中の愛校心の醸成、循環型支援体制構築が課題

3. 魅力的な寄附募集事業の確立

寄附者は共感した寄附募集事業に寄附

福井大学ならではの魅力的な寄附募集事業を如何に見い出すかが課題

個人寄附者のリピート率

寄附回数	個人	法人・団体	計	個人占有率
1回	2,696	292	2,988	67.9%
2回	607	77	684	15.3%
3回	240	27	267	6.0%
4回	127	29	156	3.2%
5回	84	19	103	2.1%
6回	81	9	90	2.0%
7回	40	6	46	1.0%
8回	26	3	29	0.7%
9回	17	3	20	0.4%
10回	8	1	9	0.2%
11回以上	45	3	48	1.1%
計	3,971	469	4,440	100.0%
占有率	89.4%	10.6%	100.0%	

注) 個人寄附者中、卒業生は2,197名

大学公認クローズドSNS『福大プラットフォーム』の立ち上げ

福井大学では、「エンゲージメント」をキーワードに、卒業生の皆さん同士、また皆さんと在学生や母校を1つのSNSプラットフォームで繋げ、そこで自由に交流でき、有益な情報を受け取ることができる、公認クローズドSNS「福大プラットフォーム」を開設しました。



(コミュニティマネージャー委嘱式)



「福大プラットフォーム」ホーム画面

タイムライン

新規作成されたコミュニティ情報や、自身が参加しているコミュニティに関する情報が流れてきます。

お知らせ

大学からのお知らせを確認することができます。

コミュニティ

自身が参加しているコミュニティを表示します。

Q コミュニティを探す

で参加した
コミュニティ
探せます。



- ・私の寄付が、学生や教員の皆さんがさらなる研究成果を挙げ、新たな技術革新の礎を築く支援となれば幸いです。また、これが未来の工学者たちを育成し、彼らが社会に大きな影響を与えるきっかけとなることを願っています。皆さんのこれからの活動に最高の成功がありますように。－令和6年4月 法人
- ・学生交流のための屋根のある広場の完成を楽しみにしています。－令和6年2月 在学生のご家族
- ・在学中は大変お世話になり 本当にありがとうございました。これからの貴学の益々の発展を心よりお祈りしております。－令和6年1月 教育学部卒業生
- ・福井大学の卒業生が弊社で活躍しております。将来を担う若者の育成を応援しております。－令和5年1月 一般の方
- ・今の自分があるのは母校の福井大学のおかげであり大変感謝しております。母校のために何かできることはないかと常々思っており、福井大学基金への寄附という形ではありますが、微力ながらお役に立てましたら幸いです。－令和4年6月 医学部卒業生
- ・独自でオリジナル、そして資金に困っている福井大学の研究者に、少しでも支援できればと思ひまして、ご寄付をさせて頂きます。大学教員は、研究者がメインな姿でありながらも、研究を通じた教育だけでは無く、学生のメンタル的な指導も近年は求められています。非常に難しい立場であり、日々苦悩されていることと存じます。先生方に、少しでもお役に立ち、かつ、日本を支える若者の育成にも寄与して頂ければと思っています。頑張ってください。－令和4年5月 工学部卒業生

ご清聴ありがとうございました。

本発表に関する問合せ先

福井大学基金事務局

〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

電話 0776-27-9903

MAIL kikin@ad.u-fukui.ac.jp

